

登録コード	E2912900	開講年度	2026	県内大学開放授業			
授業科目	英語文学				担当教員	金子 史彦	
英文授業名	English Literature 2				副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・1時限	対象学生	2～4年生
講義室	教育N 2 0 2 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				・英語文学を学ぶことにより、教員としての公共的使命感や倫理観を身に付ける。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・文学作品において使用されている様々な英語表現、文学作品で描かれている英語が使われている国や地域の文化、英語で書かれた代表的な文学について理解し、英語教育に活かすことができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	A.A.ミルンの『クマのプーさん』を原書で読む。面白おかしい児童文学と思われる同著を様々な方法で読み、社会風刺や多文化共生といったテーマを読み込んでいくことを学ぶ。						
(5)授業計画	第 1 回：『クマのプーさん』について 第 2 回：“ In Which We Are Introduced to Winnie-the-Pooh and some Bees, and the Stories Vegin ”（「わたしたちが、クマのプーやミツパチとお友だちになり、さてお話ははじまります」）(p.1-19) 第 3 回：“ In Which Pooh Goes Visiting and Gets into a Tight Place ”（「プーがお客にいて、動きのとれなくなるお話」）(p.20-31) 第 4 回：“ In Which Pooh and Piglet Go Hunting and Nearly Catch a Woozle ”（「プーとコブタが、狩りに出て、もうすこしでモモンガーをつかまえるお話」）（p.32-40） 第 5 回：“ In Which Eeyore Loses a Tail and Pooh Finds One ”（「イーヨーが、しっぽをなくし、プーが、しっぽを見つけるお話」）(p.41-51) 第 6 回：“ In Which Piglet Meets a Heffalump ”（「コブタが、ゾゾに会うお話」）(p.52-65) 第 7 回：“ In Which Eeyore Has a Birthday and Gets Two Presents ”（「イーヨーがお誕生日に、お祝いをふたつもらうお話」）(p.66-82) 第 8 回：“ In Which Kanga and Baby Roo Come to the Forest, and Piglet Has a Bath ”（「カンガとルー坊が森にやってきて、コブタがお風呂にはいるお話」）(p.83-100) 第 9 回：翻訳について 第10回：“ In Which Christopher Robin Leads an Expotition to the North Pole ”（「クリストファー・ロビンが、てんけん隊をひきいて、北極へいくお話」）(p.101-119) 第11回：“ In Which Piglet Is Entirely Surrounded by Water ”（「コブタが、ぜんぜん、水にかこまれるお話」）(p.120-135) 第12回：“ In Which Christopher Robin Gives a Pooh Party, and We Say Good-bye ”（「クリストファー・ロビンが、プーの慰労会をひらきますそして、わたしたちは、さよならをいたします」）(p.136-150) 第13回：社会と文学 第14回：まとめ 最後の15分で授業アンケートを実施する 教育実習による欠席分については補講を行う。						
(6)成績評価の方法	・言葉遊びの翻訳に対する考え等、英文解釈力や内容理解力を図る期末レポート(100%) ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	・期末レポート - (i)テーマ選びが適切であり、(ii)そのテーマを選んだ理由がよく説明できており、(iii)内容がよく分析されており、(iv)自分の意見がはっきり述べられており、(v)その上で全体が上手くまとめられており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業内容の欄に、テキスト及で予習しておくべき箇所を指定する。 この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。						
(9)履修上の注意	対面授業。 予習として指定された範囲をしっかりと読んで授業に臨むこと。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	N229, 内線4193, E-Mail: kanekof@shinshu-u.ac.jp, オフィスアワー木曜日3,4限、その他予約で対応。						
【教科書】	A. A. Milne著 Winnie-the-Pooh 研究社 1760円						
【参考文献】	指定しない						